

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	北海道大学
拠点のプログラム名称	海洋生命統御による食糧生産の革新 (海の生物の高度で安全な活用を目指して)
中核となる専攻等名	水産科学研究科生命資源科学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 山内皓平 教授 外20名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>海洋の食糧資源においても、効率的な生産・高品質化・安全性の確保は、最重要課題である。本研究教育拠点は、生命現象の遺伝子支配が柔軟であるという海洋生物の特性を生かした、陸上の食糧資源生物では実現困難な新たな生命統御システムを確立し、生産性と安全性の高い食糧生産の実現をめざすものであり、この点においてきわめて革新性が高い。本研究教育拠点では以下の諸項目を遂行する。 1. 海洋生命統御による借腹(仮親)養殖技術開発 2. 魚類の成熟卵や海藻類の胞子を得る試験管内培養技術の開発 3. 海苔・昆布の体細胞クローンの種苗化 4. 生産される生物やその生産環境の安全性を多面的に評価する技術の開発 5. 水生生物の持つ新規有用生理活性物質の食品機能評価と利用。これらのプロジェクトを通じ、海洋生命統御・食糧安全保障に関する研究と産業の牽引や政策を提言できる人材の育成、民間参画による新アクアビジネス・ベンチャーの展開をはかる。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>海洋生物が陸上生物と異なる点に着目しており、食糧生産につながる新しい学術領域を開拓するものと評価される。また、目標を達成するための実績も十分にあると判断する。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>海洋生物は陸上生物とは異なる特徴(生命現象の遺伝子支配が柔軟、性のゆらぎと多産性など)を有している。このことを生かして安全・安心な食糧生産につなげる点で、革新的な学術分野の開拓を目指す拠点形成計画である。</p>	